



美術でつなぐ

目的

地域の美術のハブとなり、様々な美術と出会える発信地となる。

美術でつながり、集い、語らい、切磋琢磨し、人を育て、自らも成長する、それが私たちENの役割です。私たちの表現が、何を生み出し、何をもたらすのかをみんなで考え、共に行動することで、地域の美術のハブとなり、様々な美術と出会える発信地となることを目指します。



現状

美術大学を卒業しても創作活動を続けられない人たちが。

静岡県東部地域に限っても、美術大学を卒業した多くの人たちがいる。しかし、学生時代は目的意識を持って共に学び切磋琢磨する仲間や指導してくれる先生がいて、刺激を受けることで活動してきたが、卒業後はモチベーションを上げることができず創作活動を続けられない人たちがいる。その様な人たちも巻き込み、組織として動くことで注目される存在となる。



活動

コロナ禍における5つの活動。



僕らはみんな生きている



井口貴夫展



芸術士派遣事業



ららぽーと沼津



市場町アートフェス

振り返り課題

感染症対策を行いながら活動を実施。

ZOOMなどを利用し定例会で企画内容などについて検討して、当初予定していた展示とは違う企画ではあるが、秋からの実施を決定。壁面の増設、手すりの設置などの施設の充実を図り、検温や消毒などを行いながら展示を行った。

5年開催してきた「みんなで花を咲かせましょ」が評価され電通SDGs AWARD 2020で特別賞を受賞。

森美術館館長が来場、「DHARMA沼津を中心に沼津のアートフェスを行っては」との言葉をいただく。

ららぽーと内の「沼津コート」から声をかけていただき、1カ月間ENの活動を紹介する展示を実施。

課題：会費による収入以外として、作品やグッズの販売、出品料による収入を高めることが必要。

